

まちづくりの目標	3	みどりうるおう環境を大切にすまち
政策	1	地球にやさしく美しい住みよいまちにします
施策	2	循環型社会をつくるまちにします
		担当部(統括部) 生活環境部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
地球温暖化対策として、資源化可能なごみがさらにリサイクルされ、ごみの脱焼却が進んでいます。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	さらなるごみ排出抑制、再資源化に向け、分別方法再編の基本方針が定まっている	一部ごみの取り扱いの検討がされている	新たな分別方法にかかる課題認識について、市民と共有している	新たな分別方法にかかる課題認識について、市民と共有している	翌年度以降に開始する新たな分別方法が周知されている	分別収集が進み、ごみ焼却量が減少している
実績	目標の通りの姿を実現できた					
ごみの収集・処理の広域化・効率化が進んでいます。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	近隣市とごみ処理の広域化に向け課題を共有している	広域処理方法について連携先と基本方針について合意している	広域処理にかかる課題について具体的解決方法を決定している	広域処理の課題解決、効率的なごみ収集に向けたごみ収集体制の見直しが図られている	広域のごみ処理実施に着手し、新たなごみ収集体制が明確になっている	より効率的なごみ収集、広域のごみ処理が行われている。また、ごみ処理の更なる効率化に向け、焼却炉の更新に関する方針が定まっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
市民、事業者、市が一体となった地球にやさしい取組みが進み、ごみがより減量されています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	市民、事業者、市が一体となった取組みが検討されている	一部ごみの取り扱いの検討がされている	市民、事業者、市が一体となってごみ減量の必要性を認識している	市民、事業者、市が一体となってごみ減量の必要性を認識している	市民、事業者、市が一体となってごみの減量を推進していく意識が醸成されている	市民、事業者、市が一体となったごみの減量が行われている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
リサイクル率	目標	—	—	—	—	16.8%	17.4%	18.0%	18.6%	19.3% (事業所含む)	25.0%
	実績	16.3%	16.3%	16.2%	16.2% (事業所含む)	15.6%					
ごみの年間焼却量	目標	—	—	—	—	25,230t	25,096t	24,962t	24,827t	24,693t	21,126 t
	実績	29,238t	27,303t	25,491t	25,365t	24,714t					
市民1人あたりの1日のごみ量	目標	—	—	—	—	1,048g	1,044g	1,040g	1,036g	1,032g (集団回収資源含む)	724g
	実績	1,065g	1,002g	943g	1,052g (集団回収資源含む)	1,042g					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎ごみゼロ施策の推進						平成25年度事業費計 30,508千円
できるだけごみを出さずに再使用する意識を高め、実践されるよう、市民、事業者、市の協働による取組みを進めます。また、地球温暖化の原因となる焼却処理を減らすため、ごみゼロをめざした資源のリサイクルをさらに推進します。						
平成25年度事業	ごみ減量啓発事業1,785千円・ごみ減量対策事業28,723千円(環境業務課・環境センター)					
		第3期実施計画期間			前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	ごみ減量に向けた分別をするため、他市の事例研究	プラスチック製容器包装の分別収集にかかる課題検討	プラスチック製容器包装の分別収集について市民、事業者を交えて審議	プラスチック製容器包装の分別収集について市民、事業者を交えて審議	プラスチック製容器包装の分別収集方法の策定、翌年度以降実施に向けた市民周知	プラスチック製容器包装ごみ資源化の評価
取組実績	プラスチック製容器包装の分別収集を実施している市における、ごみの出し方や収集の状況について、現地視察を実施した。					
成果	本市におけるプラスチック製容器包装の分別収集を実施する際、ごみの出し方をどのようにしてもらうことが最も良いかを検討するための参考事例を得ることができた。					
次年度課題	プラスチック製容器包装の分別収集及び資源化実施に向けて、定期収集しているごみの組成調査を行い、現状を分析することが必要である。					
計画		耐久消費財の再生利用のシステム構築を検討	耐久消費財の再生利用のシステム構築を検討	耐久消費財の再生利用のシステム構築について市民、事業者を交えて協議	耐久消費財の再生利用のシステムの構築	耐久消費財の再生利用のシステムの評価
取組実績						
成果						
次年度課題						

◎事業系ごみの適正処理とリサイクルの推進						平成25年度事業費計 2,185千円
事業活動に伴うごみの処理や減量、リサイクルについて、事業者への啓発・指導を強化します。また、事業者の環境配慮行動がさらに促進されるよう、エコアクション21などの環境マネジメントシステムの認証取得を支援します。						
平成25年度事業	ごみ減量啓発事業1,785千円(環境業務課・環境センター) エコアクション21認証取得助成事業400千円(環境業務課)					
		第3期実施計画期間			前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	事業者への推進のため、他市との事例研究、他課との連携	事業系ごみ適正分別推進方法の検討	市内事業所に適正処理の啓発指導	市内事業所に適正処理の啓発指導	事業系ごみの適正処理の啓発指導方法の評価	事業系ごみの適正処理の啓発指導方法の評価
取組実績	他市における事業者への指導・啓発事例について情報収集を行った。					
成果	事業系ごみの適正処理推進に向けて、参考となる事例を得ることができた。					
次年度課題	市内事業所と緊密な関係を持つ他課と連携することで、ごみ減量に関する情報提供を事業所に対して行った際に、市内事業所全般に行きわたりやすくなるなどの効果が期待できるため連携方法を検討していく。					
計画		他課との連携を図りつつエコアクション21取得支援	他課との連携を図りつつエコアクション21取得支援	他課との連携を図りつつエコアクション21取得支援	事業者の環境配慮行動促進状況を評価	事業者の環境配慮行動促進状況を評価
取組実績						
成果						
次年度課題						

◎効率的で安定した収集・処理システムの構築						平成25年度事業費計 832,547千円
リサイクルと適正処理に向け、収集システムの確立や収集の効率化をめざした取組みを進めます。また、ごみ、資源の収集、中間処理、最終処分が将来にわたり、また災害時などにも強く安定的な収集処理システムを構築する取組みを進めます。						
平成25年度事業	ごみ処理施設維持管理事業551,297千円(環境センター) リサイクルプラザ整備事業46,132千円・ごみ収集処理事業235,118千円(環境業務課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	一般廃棄物処理基本計画の策定	一般廃棄物処理基本計画の進捗管理	一般廃棄物処理基本計画の進捗管理	一般廃棄物処理基本計画の進捗管理	一般廃棄物処理基本計画の見直し	
取組実績	公募市民を含む審議会を6回、一般市民が参加する市民検討会議を4回開催し、これらの会議の審議内容、検討内容を踏まえて一般廃棄物処理基本計画を策定した。					
成果	今後のごみ処理に関する基本方針及び施策展開が定まった。					
次年度課題	今回策定した一般廃棄物処理基本計画では、平成23年度から平成27年度を前期とし、平成28年度から平成32年度までを後期とし、中期的に施策の展開や実施時期について定めている。そのため、現状から継続実施となっている施策を除き、年度ごとに進捗管理をしていく必要がある。					
計画	リサイクルプラザ再整備計画策定に着手	広域処理を見据えたりサイクルプラザ再整備計画を策定	整備計画に基づき発注仕様書を作成	業者の選定及び発注	リサイクルプラザ再整備に着手	収集処理システムの評価
取組実績	再整備に際して、国からの補助金の有無は重要な事項となるため、大阪府から国庫補助金(交付金)の動向について情報収集を行った。また、コンサルタント業者から再整備にかかる提案内容の聴取を行った。					
成果	収集した情報及び提案をうけた内容を踏まえ、再整備にかかる基本方針を定めた。					
次年度課題	—					
計画	近隣市と共同での研究、課題整理	近隣市と共同での研究、課題整理	近隣市と共同での研究、課題整理	近隣市と共同での研究、課題整理	近隣市と共同での研究、課題整理	
取組実績	自治体ごとに家庭ごみの分別・収集・処理方法が異なることから、広域処理を見据え、お互いの市の現状について、近隣市と勉強会を4回共同実施した他、各々が所有・運営している処理施設の見学を実施した。					
成果	近隣市と家庭ごみの分別・収集・処理方法について現状比較することにより、広域処理を実現するための課題の把握と共有ができた。					
次年度課題	課題の解決方法を模索するため引き続き近隣市と協議を実施する。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

多様な収集方法や収集活動		平成25年度事業費計 235,118千円				
安否確認を兼ねた高齢者などに対するふれあい収集や、ごみ出しの利便性向上と分別収集推進のための戸別収集、収集作業中に子どもを見守るパトロールなどを実施します。						
平成25年度事業	ごみ収集処理事業235,118千円(環境業務課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	ふれあい収集について、他市の事例研究、職員の資質向上	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る	緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る
取組実績	他市でのふれあい収集の事例研究を行い、また13人の職員が救急救命講習を受講した。					
成果	課題整理を行うための情報収集を行うことができた。また、職員が緊急時の対応方法を習得することができた。					
次年度課題	プラスチック製容器包装の分別収集実施に向けて、収集体制の検討が必要になる。また、高齢者人口増加に伴い、ふれあい収集実施件数の増加が懸念される。実施件数が膨大となった場合、収集体制再編の検討が必要となる。					
計画		プラスチック製容器包装の分別収集実施に向けた収集体制の検討				
取組実績						
成果						
次年度課題						

地域やNPOと連携したごみ減量施策の推進		平成25年度事業費計 28,723千円				
小学校区ごとに、自治会、廃棄物減量等推進員と連携し、協働で不法投棄など地域のごみ問題の解決に取り組みます。						
平成25年度事業	ごみ減量対策事業28,723千円(環境業務課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	市民とごみ減量推進に向けた協働での取組み	地域でのイベント等に参加することにより、日頃から地域との連携を強化	地域でのイベント等に参加することにより、日頃から地域との連携を強化	地域でのイベント等に参加することにより、日頃から地域との連携を強化	地域のごみ問題解決のため地域との連携を強化	地域のごみ問題解決のため地域との連携を強化
取組実績	廃棄物減量等推進員との懇談会を、小学校区ごとで計10回実施した。					
成果	地域におけるごみ問題について、市民と情報を共有し、問題解決に向け、協働によって取り組むことができた。					
次年度課題	「摂津市における協働と市民公益活動支援の指針」が策定された場合、この指針に沿った施策の展開を行っていくことが必要となる。					

エコアクション21 の認証取得と普及						平成25年度事業費計 400千円
平成21年(2009年)3月に環境センター、ストックヤード両施設で取得しており、地域事業者への普及を目的とした摂津スクールを実施します。						
平成25年度事業	エコアクション21認証取得助成事業400千円(環境業務課)					
		第3期実施計画期間			前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	事業者への周知及び推進のため、他市の事例研究	エコアクション21を市内事業者に推進し、他課との連携及び他市の事例研究により制度を見直し	エコアクション21を市内事業者に推進し、他課との連携及び他市の事例研究により制度を見直し	エコアクション21を市内事業者に推進し、他課との連携及び他市の事例研究により制度を見直し	市内事業者におけるエコアクション21の普及	市内事業者におけるエコアクション21の普及
取組実績	吹田市及びエコアクション21中央事務局と協同し、事業者向け説明会を1回開催した。					
成果	1事業者がエコアクション21の認証を取得するに至った。					
次年度課題	事業者の認証取得普及のため、他課との連携方法の検討が必要である。					

地域や市のイベントと連携した環境教育の推進						平成25年度事業費計 1,785千円
地域のまつりやPTA行事、市のイベントなどに参加し、分別ゲームやバッカー車の体験乗車などを通じて、子どもたちに環境問題やリサイクルについて理解を求める取組みを実施します。						
平成25年度事業	ごみ減量啓発事業1,785千円(環境業務課・環境センター)					
		第3期実施計画期間			前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	環境教育とごみ啓発に向けて市民との協働	地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明	地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明	地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明	地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明	地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明
取組実績	こどもフェスティバルや校区カーニバルなどの行事に参加し、イベント当日の啓発、実行委員会でのごみ分別徹底の協力依頼を行った。					
成果	イベント全体でごみの分別に取り組むことができ、多くの人に環境問題の啓発を行うことができた。					
次年度課題	複数のイベントが同じ時期に重なることが多いため、これ以上イベントが重なった場合、職員の配置方法、ごみ減量の啓発方法を再考する必要がある。					